

■破たん後の世界②■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 076 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

076 目次

1. トピックス：破たん後の世界②
2. まつむら塾だより
3. リリース：発信情報から
4. スケジュール：今週のご案内
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：破たん後の世界②

「破たん後の日本をつくる」とはなにか(what)?...それは未来の選択だ。

今の日本には次の二つの未来しかない。

一つは、破綻せず何とか現状の危機を乗り越える未来。

もう一つは、残念ながら破綻を迎え、そこから再スタートする未来。

もちろん僕は、後者の未来を選択し、ともに歩む仲間を募りたい。

そのためには、日本が迎える破たんについて、もっと解りやすく説明する必要がある。

「破たん」とは、取り返しのつかない失敗をして、解決の見通しが立たなくなること。

一部あるいは全部の債務が不履行となるため、債権者という被害者が必ず発生する。

これ以上放置・先送りできないと判断した債務者が、自分の意志で名乗り出ることによって成立する。

したがって、実質的に破たん状態になっても、宣言しない限り破たんとはならない。

今の日本は、まさにそんな状況で、取り返しのつかない問題のオンパレードだ。

赤字国債、金融緩和、高速増殖炉、国立競技場、豊洲市場などなど。

でも、安倍首相はもちろんのこと、小池都知事だって「破たん宣言」する気はない。

これから解決に向け、「頑張ります」というばかりだ。

だが僕は、この現状を「破たん状態」と見る。

そして今、僕たち自身が「破たん宣言をするかどうか」を考えるべきだと、僕は思う。

もしもあなたが、現状を破たん状態と考えないのなら、解決策を考えて実行すればいい。

だがもしも、そうでなかったとしたら僕たちは一体どうすればいいのだろうか。

だから、僕の議論はここから始まる。

「破たん状態」を前提とし、「破たん宣言」をするかどうかを論じたい。

はじめの問いを、こう言い換えよう。

今の日本には次の二つの未来しかない。

一つは、「破たん宣言」せず何とか現状の危機を乗り越える未来。

もう一つは、残念ながら「破たん宣言」をし、そこから再スタートする未来。

日本は破たん状態ではないと考える人や、たとえそうでも結局日本は破綻しないだろうと考える人は、是非とも前者の未来を選び、「日本がすでに破たん状態にある」という前提を否定してほしい。

そして、現状の様々な危機を乗り越えた状態や、その後どんな世界を目指すのかを思い描いてほしい。

僕はそれを否定する気はないし、請われればいつでも協力を惜しまない。

だが、僕自身は後者の道を選ぶ。

それが「日本がすでに破たん状態にある」という前提を認める考え方だ。

その場合は、さらに被害が拡大し、破滅へと向かっていく、悲惨な未来を描くことから始まる。

そして、なぜそれでは困るのか、それとは違う明るい未来は何なのかを考えることが僕の提案だ。

このように、破たんを「認めない」と「認める」のでは、その先にある遠いゴールが違ってくる。

たとえ同じ現状でも、ゴールにたどり着けるかどうか、破たんしているかどうかの決め手となる。

したがって、現状をすべての人が「破たん状態」と考えるわけではない。

たとえ何年赤字が続いても、当初のビジョンを実現した **AMAZON** は世界の覇者となった。

原発の普及を夢見た人にとっては、現状は「破たん」ではなく、「苦難の道半ば」かも知れない。

日銀の異次元緩和がバブルの再来を実現し、日本中がまた好景気に沸く日が来るのかもしれない。

だがそうであるならば、堂々と原発の作る明るい未来を語って欲しい。

例えば万が一、放射能が漏れて周辺地域が立ち入り不能になろうとも、リスクを取る価値があると。

今度こそ、いいバブルがやってきて、はじけることなくみんなが金持ちになれるはずと。

何を目指そうとその人の自由だが、「目指してきたゴール」を明確に語って欲しい。

だが、こうした言い分をすべて鵜呑みにする気には、なれない人もいる。

このままでは、目指すゴールにたどり着けないどころか、違うゴールに向かってしまう。

今ゴールを変更し、みんなに伝えなければ、取り返しのつかないことになる。

今僕は、そんな人たちとゴールの見直し作業を始めたり、その手伝いをしたい。

つまり、「破たん宣言」とは、「ゴールの変更」に他ならない。

今まで「やってきたこと」を変えるのではなく、今まで「目指してきたゴール」を変えること。

そのためにまずやるべきことは、今まで「目指してきたゴール」を明確に語ること。

ここであなたに気づいて欲しい。

破たんを認めなくても認めても、やるべきことは同じということ。

だがそれは、決して簡単なことではない。

「目指してきたゴール」を、判るように説明するのは「自分自身の仕事」だ。

なぜなら、それを知っているのは自分しかいないから。

カンニングをしても、真似をしても構わないが、答えは自分で見つけるしかない。

そして、その「目指すゴール」を語ることからすべてが始まる。

「言ってること」と「やってること」が一致していなければ、それは「破たんの兆候」だ。

どちらかを修正しないと、やがて辻褄が合わなくなる。

不本意な家族関係、不本意な仕事、不本意な投票、不本意な時間に甘んじて、不本意な人生を過ごす。

そんな自分自身の破たんが、社会の破たんを受け入れてしまう原因だ。

「破たん後の日本をつくる」のは、「破たんの無い日本を目指す」こと。

長い目で見れば、破たんした日本が消滅し、破たんのない日本だけが存続するのは当然のことだろう。

ここでいう「日本」とは、日本で暮らす僕たち自身と、僕たちが作り出す家庭、会社、社会のこと。

目指すことを語り、それを実行に移すものが継続し、辻褄の合わないものが消えていく。

今僕が危機感を感じるのは、自分の目指すことを語る人が少ないこと。

だから僕は、破たん後の日本を作るために、「事業目的の作り方」を考えることにした。

この文章も、僕のやりたいことをわかりやすく語る試みだ。

簡単ではないが、仕事とはそういうものだと僕は思う。

オンラインまつむら塾

<https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

.....

2. まつむら塾だより

■リアルまつむら塾

今後の開催予定：10/13(木)、10/28(金) いずれも19-21時 笑恵館にて

■オンラインまつむら塾 <https://synapse.am/contents/monthly/m-juku01>

新規投稿 A11_3.どうやって(how)という疑問(10/5)

・どうやって(how)は、十分なやり方

「どうやって(how)」は方法ややり方を問う言葉です。ここで注意しなければならないことは、方法を名前や目的と一緒にたにしないことです。…続く

現在：RAM 会員3名

■課外教室 (ブログなのに)

破たん後の世界② <http://nanoni.co.jp/20161003-2/>

目的なんかきれいごと? <http://nanoni.co.jp/20161005-2/>

.....

3. リリース：発信情報から

■FB イベント

10/22 砧むらマップカフェ③

<https://www.facebook.com/events/1595433487429568/>

.....

4. スケジュール：来週のご案内

凡例 □面談歓迎：仕事してありますが、あなたのアポを優先します。

■同行可能：よろしければ、僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：僕の参加予定イベントで、あなたも参加可能なもの

.....

(月) 10/10 □作業日(体育の日)

(火) 10/11 □午後から、笑恵館で面談可能

15-17時 ★笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

http://land-resource.org/info/lrmtg_info

(水) 10/12 □作業日

名栗の森 MTG in 駒沢

<https://www.facebook.com/events/345419805794682/>

(木) 10/13 □終日、笑恵館で面談可能

18-21時 ★19-21時 ★まつむら塾

(金) 10/14 □午後から、笑恵館で面談可能

14-16時 ★砧むら 防災教室

19-21時 ★カプラー起業交流会

(土) 10/15 □作業日

(日) 10/16 休業日

今日は、ついに一緒にベトナムに行ってくれそうな仲間を見つけました。

初海外旅行の若者ですが、どうなることやら！

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe...>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>